



「個」を強くする大学。

Ranking

進路指導教諭編

全国

第1位

生徒に人気がある大学

明治大学は志願者数が毎年のように10万人を超えるなど、全国の受験生や高校から高い評価を得ており、その理由として、積極的な大学改革が挙げられます。

近年、施設整備や教育などハード・ソフト両面で改革を実施し、ブランド力を高めることで、「選ばれる大学」として評価を高めています。駿河台キャンパスの象徴である地上23階建てのリバティタワー完成以降、新学部や新校舎の大規模整備を次々に進め、2013年には国際化・先端研究・社会連携の拠点として中野キャンパスがオープン。現在は駿河台・和泉・生田・中野の4キャンパスに文理10学部を擁する総合大学として、最先端の教育・研究が行われています。

さらにグローバル化を推進し、学生の留学実績が飛躍的に上昇。日本人学生の海外留学生数は、全国2位の2,120人に達しました(2019年度)。現在、2030年までに「留学経験者の比率を50%に増加させる」や「海外から年間4,000人の留学生を受け入れる」など、具体的な数値目標を掲げています。

また「スポーツの明治」として、野球・ラグビー・駅伝・サッカー・卓球・水泳といった、あらゆる大学スポーツの強豪としての伝統を築き上げ、在学生や全国59万人の卒業生の誇りにもなっています。



主な Ranking Data

入学後、生徒の満足度が高い大学	進	全国私立大第2位
学生サポートが充実している大学	受	全国私立大第3位
就職力が高い大学	受	全国私立大第3位
社会人基礎力を高められる大学	社	全国私立大第3位
キャンパスがきれいな大学	受	全国私立大第4位
研究力が高い大学	進	全国私立大第8位

Ranking

進路指導教諭編

全国

第1位

就職に力を入れている大学

全国の高校の進路指導教諭が評価する大学ランキングにおいて、「就職に力を入れている大学」14年連続第1位に輝くなど、「就職の明治」として、企業のみならず教育現場からも高い評価を得ている明治大学。各キャンパスには相談員が常駐し、学生一人ひとりの相談に対応。様々な企業とコラボレーションした支援行事の実施や、模擬面接・エントリーシート添削といった手厚い選考対策、長年のノウハウを詰め込んだ「就職活動手帳」の学生全員への配付、といった数々の独自策を展開し、コロナ禍においては、他大学に先駆けていち早くオンライン支援に移行するなど、「就職の明治」としての存在感を示しました。

こうした「就職支援」に加えて、1・2年次の「キャリア支援」にも力を注いでいるのが、明治大学の大きな特徴です。キャリア支援には、社会との接点の創出を主眼に、社会人へのインタビューなどを行う「Career Design Program」、約200社の協力企業で「3日間、15時間以上」のインターンシップ(就業体験)を行う「Meiji Job Trial」、企業から出題された課題にグループで取り組むPBL(課題解決型学習)プログラム「MEIJI Challenge Program」という、3つの柱となるプログラムがあります。「MEIJI Challenge Program」では、小売館や北九州市などの参加企業・自治体から、実務に則したテーマが与えられ、学生は正解のない問いに対して、グループでアイデアを提案。優れた提案は、導入や商品化も検討されます。

こうした各プログラムは、学生時代に「何かに挑戦したい」と考える学生にとって格好の機会となります。また将来への不安感など、同じような悩みを持つ学生が集まることが多いので、本気で話し合える仲間との出会いにもつながります。



人気企業が集まる学内セミナー「Meiji Career Fes 2023」の様子

Information

和泉ラーニングスクエア

社会の激しい変化に対応し、総合的な基盤である「教養教育」を展開する“場”として、文系6学部1・2年生が通う和泉キャンパスに2022年、新教育棟「和泉ラーニングスクエア」が誕生しました。

学生同士が協働する様子が外からも見える、遊び心豊かな「グループボックス」や、机や椅子を取り払い、自由な発想や議論を促す「カイドン教室」、偶然の出会いや対話が生まれる緑豊かな「グリーンテラス」といった、新たな教育空間を積極的に取り入れるなど、学生の主体的な学びが生まれる工夫がなされています。

明治大学・大学院の卒業生で、日本建築家協会賞をはじめ著名な各賞を受賞している新進気鋭の建築家・中村拓志氏が、設計協力者として参画しました。



Ranking

全国私立大

第5位

進路指導教諭編

面倒見が良い大学

明治大学は文系7学部・理系3学部の計10学部28学科を展開し、学生数も学部生だけで3万人を超える大規模総合大学です。ただ、全学部の授業科目のうち、履修人員が30人未満の科目数は54.5%（2022年度）と半数以上を占めるなど、大規模ながらも、少人数教育を実現しています。また、学生が授業の主体となって自ら学ぶ「アクティブラーニング」も積極的に導入しており、10～20人程度で行われるゼミ（演習）形式の授業も、1・2年次から開始。コミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを高めます。さらに、自身が所属する学部以外の授業が受けられる「他学部履修制度」や、国際社会やビジネス・専門実務など多彩なテーマで展開する「全学共通総合講座」も用意。語学や情報系の科目なども含め、学生が所属学部・学科以外の幅広い学びを得られる機会を提供しています。

また、明治大学は、性別、障がい、性的指向、性自認、国籍、人種などについて多様な背景をもつ学生が、個々の能力を存分に発揮し、平等に教育研究その他の活動を営むことができるキャンパスづくりを進めています。学生相談室では、教職員・カウンセラー・精神科医・弁護士が相談員となり、学生の様々な気持ちについて一緒に考えています。レインボーサポートセンターでは、性の多様性に関する相談対応や啓発イベントの実施、情報提供などを行っています。障がい学生支援室では、障がいを持つ学生への授業サポート等を実施しています。2023年には、在学生・保護者対象の学外相談機関「こころとからだの相談フリーダイヤル24」を開設しました。

Ranking

全国私立大

第4位

受験生編

施設設備・立地環境が良い大学

約1,400万人もの人口を抱え、日本の政治・経済の中心として膨大なヒト・モノ・カネや情報が集積される、世界有数の大都市・東京。明治大学は、そんな東京都心やその付近に、特色ある4キャンパスを有する「都心型大学」です。

歴史ある駿河台キャンパスは、地上23階建てのリバティタワーを中心に、アカデミーコモンやグローバルフロントなど先進的な教育・研究施設が集中する、明治大学の中核。東京駅や皇居も近い都心に位置し、キャンパスを一步出れば、神田神保町の古書店街やボリューム重視の飲食店などが軒を連ねる、味わい豊かな学生街が広がっています。

新宿・渋谷まで電車で約10分という利便性と、郊外型キャンパスの開放感をあわせもった和泉キャンパス。草花や樹木に囲まれた中庭が学生を癒します。多様な空間を設けた和泉図書館や、各教室にマルチメディア機器を備えた和泉メディア棟、各種運動施設などがあり、2022年には、新たな教育棟「和泉ラーニングスクエア」が誕生しました。

緑豊かな多摩丘陵の高台に位置する、広大な生田キャンパス。理工学部と農学部の学生が大学院まで一貫して、最先端の科学技術やバイオサイエンスを学ぶフィールドです。構内には、構造物試験棟やハイテク・リサーチ・センターなどの実験設備、植物工場や自然の地形を生かした園場などが集約され、研究に集中できる環境が整っています。

教室や実験室・研究室がガラス張り、授業風景や研究の様子が見える「開かれた学び」の中野キャンパスは、2013年にオープン。明治大学で最も新しいキャンパスで、文理融合の教育・研究が展開されています。周辺には、公園を囲むように教育施設や大規模オフィス、商業施設などが建ち並び、産官学による新たな街づくりが進んでいます。

立地も良く、施設・設備も優れた各キャンパスで、学生たちは日々充実した大学生活を過ごしています。



入学センター LINE
@meijjexam

